



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月13日

上場会社名 株式会社あじかん 上場取引所 東
 コード番号 2907 URL http://www.ahjikan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中谷 登
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務推進本部長 (氏名) 樋口 研治 TEL 082-277-7010
 兼 経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	17,095	△2.4	△114	—	△60	—	△103	—
25年3月期第2四半期	17,512	2.5	468	381.7	412	—	216	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 85百万円 (△52.0%) 25年3月期第2四半期 178百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△13.62	—
25年3月期第2四半期	28.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	17,268	9,432	54.6	1,239.34
25年3月期	17,314	9,453	54.6	1,242.09

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 9,432百万円 25年3月期 9,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注2) 25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,800	0.6	280	△66.4	400	△59.7	200	△59.0	26.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	7,700,000株	25年3月期	7,700,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	88,961株	25年3月期	88,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	7,611,039株	25年3月期2Q	7,611,072株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(四半期連結貸借対照表関係)	11
(四半期連結損益計算書関係)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による金融緩和等の政策により、円安・株高が進み、緩やかながら景況感に改善の兆しが見られたものの、円安による物価上昇や米国の政策動向による影響、欧州政府債務問題など、景気の先行きは依然として不透明感を払拭しきれない状況で推移いたしました。

食品業界におきましても、原油価格や原材料価格は継続して高い水準にあり、消費意欲の持ち直しが期待されてはいるものの、長期化するデフレの影響から消費者の節約志向は依然として強く、業界を取巻く経営環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは第九次中期経営計画の2年目をスタートさせ、変化の激しい時代に対応するため、第一に「商品の研究開発と技術開発の強化」、第二に「営業基盤の拡充と市場開拓」、第三に「利益構造の改善」、第四に「全社供給体制の強化と効率化」、第五に「経営効率・経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを展開しております。

なお、セグメント別では営業部門におきましては、主要拠点での展示会開催や、各種イベントに合わせた販売活動、既存顧客への深耕開拓を積極的に行ってまいりましたが、競合他社との激しい価格競争などから当社主要顧客であるスーパーマーケットやコンビニエンスストア向けの需要が減少するなど厳しい状況で推移いたしました。

また、中国関係会社工場での生産品や、海外の委託生産品のコスト上昇に加え、円安による影響で仕入原価が大きく上昇し、業績を圧迫する状況が続いております。

一方、平成22年12月に新規事業の一環として立ち上げた「ごぼう茶」ならびにその関連製品の売上高につきましても、前年同四半期を上回る状況ではあるものの、当初見込みをやや下回る状況で推移いたしました。

他方、生産部門におきましては、省エネ活動などによる変動費の抑制を図ってまいりましたが、自社製造製品の売上伸び悩みに伴う生産稼働率の低下に加え、当社主要原材料である鶏卵・干瓢・椎茸価格が需給の関係などから前年同四半期に比べ大きく上昇しており、また、原油価格や穀物価格の高止まりに起因した副材料・補助材料費も高値で推移するなど、製造原価率は前年同四半期を大きく上回る状況で推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,095百万円（前年同四半期比2.4%減少）、営業損失は114百万円（前年同四半期は営業利益468百万円）、経常損失は60百万円（前年同四半期は経常利益412百万円）となり、四半期純損失は103百万円（前年同四半期は四半期純利益216百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ46百万円減少し17,268百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ429百万円減少し9,098百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金の増加471百万円、受取手形及び売掛金の減少1,004百万円などです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ383百万円増加し8,169百万円となりました。主な増減要因は、用地取得に伴う土地の増加180百万円、有形・無形固定資産の減価償却の進行に伴う減少などです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ25百万円減少し7,836百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ207百万円減少し6,836百万円となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金の増加260百万円、短期借入金の増加206百万円、未払法人税等の減少277百万円、その他の流動負債に含まれる未払金の減少246百万円などです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ182百万円増加し1,000百万円となりました。主な増減要因は、設備投資などに伴う長期借入金の増加188百万円、リース債務の返済に伴う減少14百万円などです。

なお、当第2四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ394百万円増加し3,128百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ20百万円減少し9,432百万円となりました。主な増減要因は、為替換算調整勘定の増加176百万円、剰余金の配当による減少106百万円、四半期純損失の計上103百万円などです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末とほぼ同等の54.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ471百万円増加し1,716百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、872百万円（前年同四半期比3.0%減少）となりました。これは、税金等調整前四半期純損失の計上64百万円があったものの、減価償却費272百万円、売上債権・たな卸資産・仕入債務を合計した運転資金面での資金獲得1,212百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、638百万円（前年同四半期比123.9%増加）となりました。これは、生産設備の増強投資・メンテナンス投資、用地取得などが主な内容となっております。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、233百万円（前年同四半期は822百万円の使用）となりました。これは長期借入金の約定返済205百万円やリース債務の返済40百万円などによる減少要因もありましたが、短期運転資金を目的とした短期借入金の増加200百万円や、政策的な借入実行による長期借入金の増加400百万円が主な増加要因となったためであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績は、売上高につきましては、大手スーパーマーケットやコンビニエンスストアなど当社主要顧客に対する需要が伸び悩み、営業利益段階で当初予想（平成25年5月15日公表）を下回る結果となりました。また、利益面につきましても、販売低迷の影響に加え、主原材料価格の高騰や円安移行に伴う外貨建て輸入品価格が上昇したことから、当初予想を大幅に下回る結果となりました。

なお、通期の業績予想につきましては、業績に大きな影響を与える冬場の原材料価格の動向や為替、株価など先行き不透明で流動的な要素も多くありますが、当第2四半期連結累計期間までの状況を勘案し、当初予想を変更しております。詳細につきましては、平成25年11月1日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、新規設立により味堪香港有限公司を連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,255,072	1,726,245
受取手形及び売掛金	* 5,247,003	* 4,242,569
商品及び製品	1,966,223	2,029,054
仕掛品	3,232	7,280
原材料及び貯蔵品	760,493	782,130
繰延税金資産	160,848	161,280
その他	287,030	339,378
貸倒引当金	△151,201	△189,229
流動資産合計	9,528,703	9,098,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,587,717	1,580,566
機械装置及び運搬具（純額）	1,109,733	1,100,219
土地	2,960,387	3,140,466
リース資産（純額）	74,473	72,974
その他（純額）	209,954	327,029
有形固定資産合計	5,942,267	6,221,256
無形固定資産		
ソフトウェア	111,746	106,405
リース資産	60,982	55,292
その他	27,098	31,176
無形固定資産合計	199,827	192,875
投資その他の資産		
投資有価証券	756,335	790,349
その他	922,058	1,011,213
貸倒引当金	△34,366	△45,715
投資その他の資産合計	1,644,027	1,755,847
固定資産合計	7,786,123	8,169,979
資産合計	17,314,826	17,268,689

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	* 2,568,839	* 2,829,152
短期借入金	2,512,300	2,719,000
リース債務	73,563	65,642
未払法人税等	318,883	41,422
賞与引当金	272,000	308,000
役員賞与引当金	31,117	15,178
その他	1,267,140	857,631
流動負債合計	7,043,844	6,836,025
固定負債		
長期借入金	221,000	409,000
リース債務	135,233	120,569
繰延税金負債	13,141	26,345
退職給付引当金	71,165	56,907
役員退職慰労引当金	329,342	340,501
資産除去債務	46,020	45,194
その他	1,500	1,500
固定負債合計	817,402	1,000,017
負債合計	7,861,247	7,836,043
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	7,153,656	6,943,427
自己株式	△64,300	△64,300
株主資本合計	9,290,596	9,080,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	177,696	198,266
繰延ヘッジ損益	—	△7,993
為替換算調整勘定	△14,713	162,005
その他の包括利益累計額合計	162,982	352,278
純資産合計	9,453,578	9,432,645
負債純資産合計	17,314,826	17,268,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	17,512,230	17,095,445
売上原価	13,112,020	13,111,288
売上総利益	4,400,209	3,984,156
販売費及び一般管理費	※ 3,931,647	※ 4,098,278
営業利益又は営業損失(△)	468,562	△114,121
営業外収益		
受取利息	900	683
受取配当金	5,229	7,158
為替差益	—	32,353
通貨スワップ評価益	24,328	—
長期為替予約評価益	—	24,106
持分法による投資利益	6,205	—
その他	12,473	8,257
営業外収益合計	49,137	72,559
営業外費用		
支払利息	16,498	13,792
為替差損	43,681	—
長期為替予約評価損	44,248	—
持分法による投資損失	—	1,915
その他	1,228	2,763
営業外費用合計	105,658	18,472
経常利益又は経常損失(△)	412,041	△60,033
特別利益		
投資有価証券売却益	895	—
特別利益合計	895	—
特別損失		
固定資産除却損	7,416	4,520
特別損失合計	7,416	4,520
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	405,520	△64,554
法人税、住民税及び事業税	211,471	30,579
法人税等調整額	△22,861	8,539
法人税等合計	188,610	39,119
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	216,909	△103,674
四半期純利益又は四半期純損失(△)	216,909	△103,674

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	216,909	△103,674
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53,554	20,570
繰延ヘッジ損益	—	△7,993
為替換算調整勘定	10,533	127,145
持分法適用会社に対する持分相当額	4,665	49,573
その他の包括利益合計	△38,355	189,296
四半期包括利益	178,554	85,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,554	85,621
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	405,520	△64,554
減価償却費	273,906	272,300
賞与引当金の増減額(△は減少)	69,000	36,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,941	△15,939
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12,611	11,158
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△15,694	△14,257
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,287	49,376
持分法による投資損益(△は益)	△6,205	1,915
受取利息及び受取配当金	△6,129	△7,842
支払利息	16,498	13,792
投資有価証券売却損益(△は益)	△895	—
通貨スワップ評価損益(△は益)	△24,328	—
有形固定資産除却損	7,416	4,520
売上債権の増減額(△は増加)	△81,895	998,825
たな卸資産の増減額(△は増加)	134,151	△39,746
仕入債務の増減額(△は減少)	307,379	253,534
未収入金の増減額(△は増加)	4,136	9,774
未払金の増減額(△は減少)	△26,612	△103,076
未払消費税等の増減額(△は減少)	18,882	△84,757
その他	30,097	△143,920
小計	1,105,610	1,177,102
法人税等の支払額	△205,630	△304,188
営業活動によるキャッシュ・フロー	899,979	872,913
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△3,781	△4,360
投資有価証券の売却による収入	15,499	—
有形固定資産の取得による支出	△303,044	△583,517
無形固定資産の取得による支出	△8,694	△32,886
利息及び配当金の受取額	14,353	12,613
その他	304	△30,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	△285,364	△638,792
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△400,000	200,000
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△273,400	△205,300
利息の支払額	△14,910	△14,304
リース債務の返済による支出	△43,556	△40,497
自己株式の取得による支出	△80	—
配当金の支払額	△90,906	△106,095
財務活動によるキャッシュ・フロー	△822,853	233,802
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,297	3,248
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△206,941	471,172
現金及び現金同等物の期首残高	1,429,402	1,245,072
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,222,461	※ 1,716,245

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,512,230	—	17,512,230	—	17,512,230
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	442	5,045,069	5,045,511	△5,045,511	—
計	17,512,672	5,045,069	22,557,741	△5,045,511	17,512,230
セグメント利益	1,185,052	287,688	1,472,740	△1,004,178	468,562

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,004,178千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,018,499千円及びたな卸資産の調整額27,510千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,095,445	—	17,095,445	—	17,095,445
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,077	5,226,867	5,227,944	△5,227,944	—
計	17,096,522	5,226,867	22,323,389	△5,227,944	17,095,445
セグメント利益	984,639	146,730	1,131,369	△1,245,490	△114,121

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,245,490千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,222,359千円及びたな卸資産の調整額△1,333千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	15,503千円	一千円
支払手形	116,615	—

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料手当	833,269千円	843,691千円
賞与引当金繰入額	207,000	194,000
役員賞与引当金繰入額	13,367	13,432
退職給付費用	74,190	74,488
役員退職慰労引当金繰入額	12,611	11,158
貸倒引当金繰入額	2,953	50,994
荷造運賃	976,331	986,141

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,332,461千円	1,726,245千円
預金期間が3ヵ月を超える定期預金	△110,000	△10,000
現金及び現金同等物	1,222,461	1,716,245